

2022年2月1日

日刊スポーツ PRESS と HOUSEI

新聞業界のクラウド組版システム「共通化」を推進

株式会社日刊スポーツ PRESS 社（本社：東京都中央区、代表取締役：吉田 昌一、以下 日刊スポーツ）と HOUSEI 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：管 祥紅、以下 HOUSEI）は、新聞業界のデジタルトランスフォーメーション(以下 DX)のさらなる推進、次世代組版システム（クラウド組版システム）の「共通化」を目指し、協業することになりましたのでご報告いたします。

日刊スポーツが有する新聞組版の知見と HOUSEI が有する IT 技術をかけ合わせ、新聞製作のコアである組版システムの次世代版、クラウド組版システムの横展開を図ることで、コストダウンを急ぐ新聞業界のニーズに対応いたします。

業務提携の背景

日刊スポーツ新聞社と HOUSEI は 2000 年代前半より、組版システムの共同開発に着手。2010 年より全面稼働した「東阪統合組版システム」は同年の新聞協会賞を受賞する名誉に預かりました。その後システムと開発運行要員は日刊スポーツ PRESS 社に移管され、2022 年初にはオンプレミスからクラウドへの移行が完了したことで、新聞製作に関わる大部分の作業がクラウド上で完結できるようになり、保守費や人件費などのコストのさらなる抑制に成功いたしました。

両社はこうした資産や経験を活かし、業界が抱えるシステムの老朽化やコスト高などの課題に対し、全国の新聞社向けにクラウド組版システムを採用頂けるよう働きかけ、「共通化」を推進していくと同時に、全国の新聞社からのフィードバックを共有することで、システムの完成度向上を図ってまいります。また、必要に応じて新規製品・サービスの共同開発及び導入にも取り組むことで、業界発展につながる IT を活かした新しいビジネスモデル、持続可能な価値の創造を目指してまいります。

業務提携に関するそれぞれの役割

業務提携にあたり、両社は以下のような役割をそれぞれ担います。

日刊スポーツ ◇システムの運用設計、導入支援、OJT と OFF-JT の実施
各種コンサルティングサービスの提供

HOUSEI ◇システムのカスタマイズ、バージョンアップ、新規開発と保守開発

両社共通の役割 ◇セミナーなどのイベントを通じた、クラウド組版システムや素材管理システムをはじめとする業界に特化した各種システムの導入事例の紹介および成果報告

以上

■日刊スポーツについて

日刊スポーツは1946年に創刊された日本最初のスポーツ新聞です。1997年1月には「ニッカンスポーツ・コム」を立ち上げ、充実した取材網を駆使したニュースを毎日配信、更に2021年にはデジタル配信に特化した日刊スポーツ NEW 社を設立、「総合情報産業」として飛躍を続けています。

また、2019年に日刊スポーツ印刷社と日刊編集センターを統合して日刊スポーツ PRESS 社を設立しました。従来の印刷・輸送やラテ情報配信のみならず、制作系を中心としたITの開発導入・運営業務を主とした「トータルパッケージ」サービス、整理制作の受託サービスを提供する企業として成長を続けています。

■HOUSEI について

1996年に中国北京大学方正グループの日本法人として設立し、大手製造やサービス企業のIT業務基盤開発や新聞・出版などメディア向け業務システム開発を得意としています。中国国内にも子会社やグループ企業を有しており、日中両国に事業基盤があるのも強みです。特にAI分野の研究開発やサービス開発に注力しています。

主な顧客に、株式会社日刊スポーツ新聞社、在京大手紙、ブロック紙、大手出版社など。

※本文中に記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

HOUSEI 株式会社の概要

本社所在地：東京都新宿区津久戸町1-8 神楽坂AKビル9階

代表者：代表取締役社長 管 祥紅

電話番号：03-4346-6600（代表）

URL：<https://www.housei-inc.com>

本件についての問い合わせ先：

広報・マーケティング室 担当（福島）

Mail: fukushima@housei-inc.com